



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL <http://www.tonyamachi.com> E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成26年11月28日




暗門の滝（第三の滝）の前で記念撮影



暗門川溪流沿いを散策

問屋町ストアはこれまで、食料品やタバコ、有料道路回数券などの販売を行い、組合員のための売店としての機能を果たしてきた。今年8月から「問屋町ストア木曜日」として、木曜日限定で、とれたての旬の産直野菜・果物の販売もスタート。今後は、売店としての機能はもちろん、情報交換の場として、地域の人に愛され、気軽に立ち寄ってもらえる問屋町のオアシスを目指す。

平成26年度
受講生募集中! 

地域中小企業の人づくりをめざして
問屋町ビジネススクール



新設されたコミュニティスペース

世界自然遺産白神山地を散策 白神山地ハイキング

10月19日(日)、白神山地ハイキングが開催され、組合員従業員やその家族を合わせ15名が参加した。
ハイキングはこれまで組合の外郭団体である青森問屋町経営同友会主催で毎年開催され、組合員従業員が多数参加し、好評を得てきた。今年度からは組合の労務対策事業として実施することとなり、記念すべき1回目のハイキング

場所は、世界自然遺産の白神山地となった。
白神山地は、人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ天然林が世界最大級の規模で分布していることが評価され、平成5年に屋久島と並んで日本で初めてユネスコの世界自然遺産に登録された。白神山地の麓の緩衝地域内にある暗門川には、落差26m、37m、42mの3つの大きな滝

がかり、その総称を「暗門の滝」といい、景勝地として知られる人気スポットである。今回のハイキングは暗門川を溪流沿いに進み、一番奥の滝まで往復するコース。参加者一行は白神山地ガイドの花田氏の説明を聞きながら、ほどよく整備された遊歩道を進んだ。暗門川の穏やかな流れと赤や黄色に色づき始めた美しい溪畔林を眺めながら1時間ほど歩くと、最初の「第三の滝」が現れ、急な階段を上り、「第二の滝」、そして一番奥の「第一の滝」まで到着。

第一の滝は落差42mの大滝で、あたり一面には水しぶきが立ちこめ、1時間以上歩いた参加者の体を心地よく冷やした。ハイキング終了後には近くの温泉施設で入浴し、疲れた体を癒した。

問屋町ストアがリニューアル

問屋町会館内にある問屋町ストアが新たにコミュニティスペースを新設し、リニューアルした。

コミュニティスペースにはイスやテーブルが用意され、休憩スペースで来店者のコミュニティケーション促進を図る。

また、組合員企業のパンフレットの展示やイベントの告知ポスター掲示も可能。ビジネスに限らず、プライベートのサークル活動や趣味の会等のPRもでき、新たな情報発信基地として期待される。

同スペースでは「不要品あげます!もらいます!コーナー」も設け、企業や家庭に眠っている使用可能な不要品を持ち寄ってもらい、処分したい方から欲しい方への橋渡しを行う。捨てられるはずの品をリサイクルし環境保護に貢献する。

問屋町ストアはこれまで、食料品やタバコ、有料道路回数券などの販売を行い、組合員のための売店としての機能を果たしてきた。今年8月から「問屋町ストア木曜日」として、木曜日限定で、とれたての旬の産直野菜・果物の販売もスタート。今後は、売店としての機能はもちろん、情報交換の場として、地域の人に愛され、気軽に立ち寄ってもらえる問屋町のオアシスを目指す。

【問屋町ストア】
① 営業時間 9時～15時
② 取扱商品 食料品、お弁当、パン、日用雑貨、タバコ、クーリング、県証紙、有料道路回数券、バスカード
③ 電話番号 72819101

組合員の合併など承認 第7回理事会

第7回理事会が10月28日(火)に開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは青森県流通団地連絡協議会第28回通常総会の開催や、盛況のうちに終了した第2回問屋町ハロウィンパーティーについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。
案件一、賃貸組合員の脱退について
案件二、組合員の合併の承認について
案件三、つなぎ資金の借換について

仮装姿で大盛り上がり 問屋町ハロウィンパーティー

今回で2回目となる問屋町ハロウィンパーティーが、10月24日(金)午後7時より開催された。

青森国際ホテルで行われた同パーティーには、組合員企業の従業員やその家族を合わせて189名が参加し、美味しい料理や各種アトラクションを楽しんだ。

仮装コンテストでは、今回から大人の部と子供の部に分けて審査が行われ、子供の部には13組19名がエントリー。今年流行した「アナと雪の女王」の主人公など、様々なキ

案件四、平成26年度第8回理事会の日程等について
案件五、関係先出資金の処理について

理事会終了後には、青森問屋町配送株の臨時総会が開かれ、提出案件が原案どおり承認された。

団地内交通事故撲滅を 目指して 問屋町交通診断

当組合と青森交通安全協会問屋町支部では、問屋町の交通事故対策等を協議する問屋町交通診断を11月5日(水)、問屋町会館で開催した。

キャラクターに扮したちびっ子達の可愛らしい姿に、会場全体が和やかな雰囲気になりました。大人の部には8組11名がエントリーし、アイデアあふれる様々なコスチューム姿で自己アピール。会場を大いに盛り上げた。

審査の結果、子供の部は学ラン&セーラー服姿に扮した5才と2才の姉妹ペアが優勝。大人の部は、青森のご当地キャラクター「イサバのカッチャ」姿に扮した江渡商事(株)の溝部由紀子さんが栄冠を手にした。

青森警察署、国、県、市の担当官を招き、問屋町支部の会員26名が参加。問屋町内で交通事故の発生が予想される箇所をバスで移動しながら視察。その後、問屋町会館会議室に場所を移し、対策を協議した。

問屋町北口において夕方多発する渋滞対策について、事務局より「問屋町から環状道路へ左折できる車線を現在の1車線から2車線へ増やせないか」提案。青森警察署の担当官は「左折車線を増やすには、同交差点で大型車2台が並んで安全に左折するのに十分な幅員が確保できることが条件。同道路を管轄する青森河川国道事務所の方と現地を調査し、可能かどうか検討す

る」と回答した。診断ではその他、問屋町大通りのアスファルト舗装及び問屋町地区枝線道路コンクリート舗装の損傷個所の早期補修も要望した。

短命県返上を目指して
第3回集団健康診断

10月7日(火)から10日(金)までの4日間、問屋町会館2階大会議室で今年度最後となる集団健康診断が実施された。

短命県返上に向けて、当組合でも今年度より組合員以外の周辺企業にも健康診断への参加を積極的に呼びかけており、今回は組合員企業から176名、周辺企業からは254名が受診した。

組合では今後も健康診断受診の呼びかけなど、青森県の平均寿命改善に寄与すべく啓蒙活動を続ける。



仮装コンテスト (子供の部)

100個を超える賞品が準備され、子供の部では参加者全員が当選する粋な計らい。大人の部ではテレビやサーロイン食べ比べセットなどの豪華目玉賞品が当たるとあって、当選番号が呼ばれるたびに会場は大賑わいとなった。



目玉商品当選者



問屋町交通診断

スーパージョットを連発? カーリング教室

毎年恒例となっているカーリング教室が10月6日(月)、みちぎんどりーむスタジアムで開催された。今回で7回目となる同教室には組合員従業員12名が参加した。



カーリング教室

青森県カーリング協会所属の藤田コーチより基本動作の指導を受け、その後4人1チームで練習試合を行った。初めてカーリングに挑戦した参加者は「カーリングがこんなに楽しいスポーツだとは思わなかった。また挑戦してみたい」と楽しみに語った。

営業品目

- パンフレット・ポスター・チラシ・ダイレクトメール・カタログ・カレンダー等
- チケット・商品券・証券等
- プログラム・記念誌・報告書・資料集・新聞・社内報等
- コンピューター用帳票類・一般事務用帳票類等
- 各種封筒・案内状・挨拶状・名刺等
- オンデマンド印刷等
- Win・Mac各種データ作成・変換 etc.

総合印刷
株式会社 誠五社

〒030-0113 青森市第二問屋町三丁目3番18号
TEL (017) 729-1611(代)
FAX (017) 729-1188

住宅設備機器・冷暖房機器 住宅関連商品総合卸商社

株式会社 金辰商事

本社 青森市第二問屋町3-3-13 TEL 729-3111
支店 仙台 営業所 弘前・盛岡・八戸

業務報告

…主要事項…

- 10月
 - 1日▽第2回献血
 - 2日▽第3回問屋町従業員モーター会議
 - ▽関東甲信越・東北卸商業団地連絡協議会交流会 (3日)
 - 5日▽第3回緑のボランティア隊
 - 6日▽第2回防犯カメラ設置検討小委員会
 - ▽カーリング教室
 - 7日▽第3回集団健康診断 (10日)
- 8日▽問屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会
- 9日▽第7回合同清掃
- ▽県中央会2014中小企業団体青森県大会
- 14日▽安協問屋町支部第2回役員会
- 15日▽金融審査会
- ▽植林事業協力者に対する感謝状贈呈式
- ▽津軽海峡ブランド博連営委員会
- 19日▽白神山ハイキング
- 20日▽協八戸総合卸センター創立45周年記念式典
- 21日▽中央会全国大会 (23日)
- 23日▽簡易郵便局新規受託者研修 (30日)
- 24日▽第2回問屋町ハロウィンパーティー
- ▽東北卸商業団地連絡協議会事務局女子職員研修会 (25日)
- 26日▽第2回簡易郵便局業務研究会
- 27日▽津軽海峡ブランド博実行委員会
- ▽県中央会理事会
- 28日▽第7回理事会
- 29日▽市高度化事業団体連絡協議会先進地視察調査 (31日)
- 23日▽問屋町ビジネススクール
- 1日▽商業簿記3級取得講座⑤
- 2日▽ビジネススマナー研修 (挨拶、名刺交換編)
- 7日▽これから学ぶ会計経理 (仕訳編)①
- 8日▽商業簿記3級取得講座⑥
- 9日▽これから学ぶ会計経理 (仕訳編)②
- 15日▽商業簿記3級取得講座⑦
- 16日▽仕事のダンドリの基礎の基礎
- 22日▽商業簿記3級取得講座⑧
- 29日▽営業しない新規開拓の基礎
- ▽商業簿記3級取得講座⑨

『経済雑感シリーズ』第32弾は(公財)21あおもり産業総合支援センターの今理事長にご寄稿いただいた。

経済雑感 第六十三回
(公財)21あおもり産業総合支援センター
理事長 今 喜典

「青森県の産業振興変わったこと、変わらないうこと」

さきごろ県内製造業の姿を調べていたとき、昭和26年(1951年)の『青森県経済報告書』にいきあたった。60年以上前の古い報告書であるが、読んでみるとなかなか面白い。当時は戦後復興の時代であり、

今のようになんげの「ものづくり企業」が県内各所に展開し、当センターなどの産業支援機関がそれらの振興にまわっている状況とは隔絶している。半世紀のあいだに県内企業が飛躍的に変貌したことがよくわかる。



(公財)21あおもり産業総合支援センター 理事長 今 喜典

この報告書は、第二次大戦後に初代の民選知事となった津島文治知事が、そのとき日本経済のかじ取り役である「経済安定本部」の仕事をしてきた著名な経済専門家の稲葉秀三氏(当時は国民経済研究協会理事長)に依頼して作成したものである。協会の専門職員、県職員による実地の調査、稲葉氏自身の数回の県内調査などにもとづいている。作成された統計資料も充実しており、知事が青森県経済についての初めての経済資料として、「県民にとって有益」で、「熟読玩味」すべき内容と高く評価したのは当然と言えよう。本文は小さな文字と数字がびっしり詰まったものであり、県経済の特質、経済の循環から始まり、農林水産業、工鉱業(原文のまま)、輸送、商業、社会労働などにわたる。くりかえすまでもないが、報告書の時代は県民が戦後の復興のため必死に働いていた時期であり、現在とはまったく経済状況が異なる。たとえば当時、リンゴ生産が本県経済にはた

していた非常に大きな役割の説明を読むと、まさに隔世の感がある。ただ、製造業については、今と重なる説明も多いように思われた。調査によると、本県は全国でも工業化が最下位の部類に入り、企業規模が零細で、近代的大工業が存在しない(八戸の2社のみ)。そして今後、大工業の導入から中小工業の育成が課題であると指摘する。とくに「他県資本にたいして本県民がどんな態度をもつてのぞむかが注目される」というコメントは意味が深い。稲葉氏による「本県経済の推移は必ずしも楽観はできない」という言葉は、今に通じるものがあるように思われる。(つづく)

旅行や出張にうれしい宿泊パックのお申込みは

共和トラベル株式会社

青森市東造道二丁目3番14号
TEL 017(736)2266
FAX 017(736)5522

青森県知事登録第3-83号 総合旅行業務取扱管理者 成田浩二

一建設から暮らしまで

カクヒロ

灯油・LPGのご用命は当社へ

(株)角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10
TEL017-762-3866

お茶

伊藤園

青森支店 支店長 太田 雅貴

青森支店 〒030-0113 青森県青森市第二問屋町3-6-35
TEL.017-739-5711 FAX.017-739-9742

ESSO Express OUT

青森市第二問屋町4-10-26

エクスプレス問屋町SS

TEL 017-762-1676

ドールコーヒーショップエッソ問屋町店

TEL 017-729-1470

今年度の清掃活動が終了

今年度最後の合同清掃が10月9日(木)、208名の参加者を集め行われた。今年度の平均参加人数は201名。第2回実施時には、これまでの記録を大きく超える223名が参加。総参加者数も1,410名と過去最多を記録し、参加企業数も延べ118社を数え、回を重ねるごとに活動の輪が広がっている。同活動により団地内のごみは目に見えて減ってきており、近年ではごみ拾いにとどまらず、鎌を手に歩道の除草作業にも力を入れ、景観向上の一助となっている。



合同清掃



ユアテック地域清掃活動

植林事業感謝状贈呈される

10月15日(水)に、青森市の植林事業協力者に対する感謝状贈呈式がホテル青森で行われ、青森間屋町経営同友会に感謝状が贈られた。

青森市では、平成4年度から平成25年度まで22年間、青森市のおいしい水を育む植林



感謝状を受ける柿崎会長(同友会)

事業を市民・企業とともに推進。同友会でも平成19年から同事業に参加しており、感謝状が授与されることとなった。当日、青森市の加賀谷副市長から感謝状を受け取った同友会の柿崎会長は「これから地域の一員として、間屋町とともに地域貢献活動を続けていきたい」と語った。

新支店長に聞く!

今年8月に、株式会社商工組合中央金庫青森支店に東京支店より赴任した、市川支店長にお話を伺った。

同金庫は昭和11年に政府と全国の協同組合の共同出資により設立され、47都道府県の営業店で「中小企業による中小企業のための金融機関」として、日本を担う中小企業の成長と発展を支えている。

「当金庫では、政府の政策の目玉である『地方創生』を進めるべく、昨年の10月に『地域活性化支援プログラム』をスタートさせております。全国の各営業店が、各地域に根付いた

金融機関として、地方公共団体などの地域振興策の方向性をキチンと理解し、それを有効に後押しするために当金庫の保有するノウハウを最大限提供していくものです。青森支店も今年で開設70周年を迎え、青森県が力を入れて取り組んでいる機能性素材である「プロテオグリカン」の事業化のお手伝い等、当プログラムの推進を通してお取引先の『企業価値』の向上、青森の『地域価値』の向上に少しでもお役に立ちたいと思っております」と新たな取り組みと新任地での目標を語った。



中央金庫青森支店支店長 市川 忠秀氏

「青森の第一印象については、赴任するまでは『ねぶた』と『りんご』のイメージが強かったのですが、県内各地にそれぞれ素晴らしいお祭り・観光資源・食材が豊富にあり、また、

「青森の第一印象については、赴任するまでは『ねぶた』と『りんご』のイメージが強かったのですが、県内各地にそれぞれ素晴らしいお祭り・観光資源・食材が豊富にあり、また、

趣味はゴルフと卓球だと話す同氏。「卓球は高校卒業以降の長いブランクを経て、3年前に再開しました。また、新入社員当時していたスキーも久しぶりにやろうと思っていたので、青森初の雪は不安な部分もありますが、楽しみにしています」と笑顔を見せた。

同氏の好きな言葉は「Let It Be」(なすがままに)。「努力した後はこの言葉に行き着くのではと思っています」と明るく答えた。(47歳)

編集後記

間屋町ストアがコミュニティスペースを新設、「不要品コーナー」などを設けリニューアルしました。「間屋町ストア木曜市」などに加え何卒ご愛顧をお願いします▼次に間屋町ビジネススクールについて少し。今期は「商業簿記三級取得講座」と「ビジネスマナー研修」を新設しました▼これが想像以上の反響で、簿記講座は定員10名に26名、マナー研修も定員10名に15名の応募がありました。地味ですがビジネススクールの継続の価値を再認識されました▼転話題。今回は趣向をかなり替えて『現代詩の長女』といわれた茨木のり子(1926~2006年)の詩を紹介いたします▼紹介する詩は『自分の感受性くらゐ』(1975年)は四半世紀を共にした夫に先立たれた二年後の作品です▼「自分の感受性くらゐ」ばさばさに乾いてゆく心を、ひとのせいにはするな、みずから水やりを怠っていない、▼気難しくなってきたのを、友人のせいにはするな、しなやかさを失ったのはどちらなのか、▼苛立つのを、近親のせいにはするな、なにもかも下手だったのはわたくし、▼初心消えかかると、暮らしのせいにはするな、そもそもがひよわな志しにすぎなかった▼駄目なこと的一切を、時代のせいにはするな、わずかに光る尊厳の放棄、▼自分の感受性くらい、自分で守れ、ばかものよ▼詩歌が不得手な私が例外的に好きな現代詩です(藤本)

間屋町ストアがコミュニティスペースを新設、「不要品コーナー」などを設けリニューアルしました。「間屋町ストア木曜市」などに加え何卒ご愛顧をお願いします▼次に間屋町ビジネススクールについて少し。今期は「商業簿記三級取得講座」と「ビジネスマナー研修」を新設しました▼これが想像以上の反響で、簿記講座は定員10名に26名、マナー研修も定員10名に15名の応募がありました。地味ですがビジネススクールの継続の価値を再認識されました▼転話題。今回は趣向をかなり替えて『現代詩の長女』といわれた茨木のり子(1926~2006年)の詩を紹介いたします▼紹介する詩は『自分の感受性くらゐ』(1975年)は四半世紀を共にした夫に先立たれた二年後の作品です▼「自分の感受性くらゐ」ばさばさに乾いてゆく心を、ひとのせいにはするな、みずから水やりを怠っていない、▼気難しくなってきたのを、友人のせいにはするな、しなやかさを失ったのはどちらなのか、▼苛立つのを、近親のせいにはするな、なにもかも下手だったのはわたくし、▼初心消えかかると、暮らしのせいにはするな、そもそもがひよわな志しにすぎなかった▼駄目なこと的一切を、時代のせいにはするな、わずかに光る尊厳の放棄、▼自分の感受性くらい、自分で守れ、ばかものよ▼詩歌が不得手な私が例外的に好きな現代詩です(藤本)

是非、ご贈答用にご利用下さいませ。

青森県産 あおもり牛メンチカツ (90g)×4個セット

本体価格 **800円**
(税込価格) 846円

青森県産 あおもり牛ハンバーグ (150g)×10個セット

青森県の大自然で育った美味しい「あおもり県産牛100%」を使用した肉屋がつくるこだわりのハンバーグとメンチカツができました♪

本体価格 **3,000円**
(税込価格) 3,240円

食肉総合卸 **いしおか** 〒030-0113 青森県青森市第二間屋町 3-5-25 **お買得な商品が盛沢山!** <http://www.isioka.co.jp> **いしおか** 検索